



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

ふれあい

第49号

編集・発行

日本赤十字社高知県支部 広報委員会

〒780-0850 高知市丸ノ内 1-7-45

総合あんしんセンター1階

TEL:088-872-6295 FAX:088-872-6299

MAIL:somu@kochi.jrc.or.jp



最新活動情報はここから



①



②



③



④

トピックス

- ★P.2-3 「7月豪雨災害」および義援金について
- ★P.4 「水上安全法講習」について
- ★P.5 新病院建築情報 <高知赤十字病院>
- ★P.6-7 「血液センターの新築移転」
「全国学生クリスマス献血キャンペーン」
他 <高知県赤十字血液センター>
- ★P.8 「平成29年度 活動資金決算報告」
プレゼントクイズ 他

「ひろがる助け合いの輪」

今号では、7月に西日本を中心に被害が発生しました「7月豪雨災害」時の活動についてまとめましたので、是非ご覧ください。

写真説明

- ①(宿毛市) 宿毛市奉仕団が被災世帯に救援物資をお届けする様子
- ②(高知市) 高知市赤十字奉仕団と青年奉仕団による街頭募金活動の様子
- ③(安芸市) ボランティアによる奈比賀の浸水家屋の土砂除去作業の様子
- ④(安芸市) 安芸市奉仕団がボランティアの受付をお手伝いする様子

7 月豪雨災害

台風第7号および梅雨前線の影響により、西日本を中心に各地で大きな被害をもたらした「7月豪雨災害」。特に広島県、岡山県、愛媛県では数多くの尊い命が奪われ、高知県内でも3名の方がお亡くなりになりました。また、安芸市、宿毛市、大月町をはじめ複数の市町村にて、土砂崩れや浸水等による家屋被害や農林水産物への被害が報告されています。

今号では、7月豪雨災害における高知県支部における県内・県外での活動についてご報告します。

7月5日(木) 県内において「避難勧告」が発令されたことにより、

高知県支部災害対策本部を設置

24 時間体制で支部職員が待機し、情報収集、情報発信を行い、

県内派遣に備え、救護班が待機

7月7日(土)～9日(月) 要請のあった市町村へ救援物資の配布

配布した救援物資について

日時	市町村	場 所	配布数
7月7日	香美市	奥物部ふれあいプラザ	毛布200枚
7月8日	宿毛市	宿毛市役所(宿毛市分)	毛布100枚、緊急セット100、 段ボール30枚、 タオルケット100枚
	大月町	〃 (大月町分)	毛布100枚、緊急セット50
7月9日	安芸市	安芸市福祉事務所	毛布20枚、安眠セット10、 緊急セット24

7月11日(水)～18日(水) 災害医療コーディネートチームを広島県庁へ派遣

7月12日(木) 義援金の受付開始

7月15日(日)～18日(水) 救護班第1班を岡山県へ派遣(写真参照)

7月24日(火)～27日(金) 救護班第2班を岡山県へ派遣

主な活動は、避難所及びボランティアセンターにおける救護所活動

7月31日(火) **高知県支部災害対策本部** 解散



(香美市) 支部職員による救援物資配布の様子



救護班による診療の様子(岡山県の避難所にて)



岡山県の避難所にて、段ボールベッドの製作を手伝う救護班員の様子:「**段ボールベッド**」は、硬くて冷たい床から離れることができ、一定のプライベート空間の確保もできるため、近年避難所にて活用されるようになってきています。さらに運搬も容易で安価なうえ、使用後は可燃ごみとして処分可能なものになっています。来たる災害に備え、こうした避難所用物品等の**事前準備の必要性**がますます高まっています。



平成30年度災害医療救護訓練の実施

高知県支部では、非常災害時における救護活動を迅速かつ適切に行うため、救護員として必要な知識・技術を習得し、救護活動の円滑な推進を図ることを目的に毎年訓練を行っています。今年は9月15日(土)と16日(日)の2日間、総合あんしんセンターと城西公園にて訓練を実施しました。

1日目は「日本赤十字社の災害救護活動等について」の座学のほか、グループワークとして「救護班として出動する際に考えるべき点について」や、南海トラフ地震時の被害想定を実際の地図に書き込みながら、「津波による浸水や液状化が起こる可能性のある地域はどこか」「通行可能な道路はどれか」「災害拠点病院が機能しなかった場合、最寄の病院はどこになるのか?」などについて協議しました。2日目の午前中は、城西公園グラウンドにて、救護車輛に積載しているテントの設置、撤収、レイアウトやロープ操作の実技を行った後、昼食に高知市赤十字奉仕団の皆さんが



作っていただいた炊き出し(親子丼と味噌汁)をおいしくいただき、午後からは避難所の巡回診療訓練を行いました。

これからも災害に備え、訓練を続けてまいります。

見る子様の被害写真



①(大豊町)高知自動車道の立川トンネル付近の土砂崩れにより一部道路が崩落した様子。これにより、一時上り線の通行が不可となっていました。現在は下り線2車線を片側車線通行できるようにしています。



②(香美市) R195 月谷と榎山トンネル間の土砂崩れの様子



④(大月町)柏島地区の道路陥没による車両転落の様子



③(宿毛市)二ノ宮地区三叉路での道路が冠水している様子

<災害に備えた 防災・減災研修会について>

高知県支部では、県民の皆様を対象とした以下のような研修会を実施しています。

町内会での防災訓練等がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

- ①避難所運営ゲーム (HUG)、災害図上訓練 (DIG) : 避難所運営や避難所経路等について、ゲーム形式で学ぶ机上研修
- ②災害時の簡単な応急手当の方法
- ③炊き出し研修
- ④熊本地震などの災害報告 等

<研修会に関する問い合わせ先>

○高知県支部 事業推進課
電話 088-872-6295

7月豪雨災害義援金について

8月24日(金)に高知県庁にて開催されました「第1回高知県災害見舞金配分委員会」において、7月31日時点総額 50,050,000 円(本社受付分 38,737,550 円含む)を県内 10 市町に、下記のとおり第1次配分することが決定しました。**義援金は全て被災者の方へ届けられます。**

市町村名	第1次配分額	市町村名	第1次配分額
安芸市	6,110,000円	香南市	3,640,000円
須崎市	130,000円	本山村	2,210,000円
宿毛市	14,300,000円	大豊町	1,040,000円
土佐清水市	1,300,000円	梶原町	520,000円
四万十市	520,000円	大月町	20,280,000円

日本赤十字社では、引き続き下記の義援金を受け付けています。詳細はホームページをご覧ください。下記までお問い合わせください。

・『7月豪雨災害義援金』

※高知県支部での受付は 9 月末で終了しましたが、引き続き東京本社で受付しています。

・『9月北海道胆振東部地震災害義援金』 他

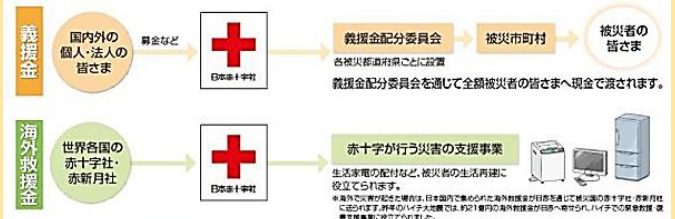
県内外の方より、60件以上もの義援金をいただき、ありがとうございました
(8月末時点)

<地域住民の方および法人様による募金活動等>

※支部で把握できている分を掲載します

- ・高知県卓球協会ラージボール部会様 卓球大会にて
- ・土佐清水市中央町商店街振興組合様 地元夜市にて
- ・津野町婦人会様 高岡郡合同研修会にて
- ・高知市地域奉仕団および青年奉仕団 中央公園にて
- ・国立大学法人高知大学様 校内募金にて
- ・ローソン本社様 店頭募金にて
- ・旭よさこい祭り様
- ・西島園芸団地様 メロンのチャリティー販売にて
- ・不二電気工芸株式会社様 社内募金にて
- ・ホテル日航高知旭ロイヤル様 館内募金にて
- ・大津分区地域奉仕団による募金活動にて

義援金や救援金の流れ



活動資金の流れ



<義援金に関する問い合わせ先>

- 高知県支部 総務課
電話 088-872-6295
- 東京本社 パトナ-シップ推進部
電話 03-3437-7081



高知県支部のホームページが表示されます

6月 着衣泳講習 (南海中学校)



青少年赤十字 (JRC) についてはこちらから

毎年夏になると、海や川、湖、池などでの「水の事故」が発生しています。高知県支部では、万が一着衣のまま水に落ちた場合を想定し、「浮いて助けを待つこと」を目的とした、**着衣泳講習**を開催しています。

今回は、テレビ局の撮影陣(※)も入っての講習会となりました**南海中学校**での様子をご紹介します。

(※)日曜夜7時からのTBS「教えてもらう前と後」にて講習会の様子が全国放送されました。



①まずはペットボトルから。肩の力を抜いて、リラックスすれば、空のペットボトル1本で浮くことができます



②次は、身近にあるビニール袋を使って、浮いてみましょう



③最後は、皆でクーラーボックスに掴まって…



JRC

青少年赤十字 (Junior Red Cross) を教育に取り入れてみませんか？

加盟登録には、経費や義務は一切伴いません。

青少年赤十字は、児童・生徒が赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中での実践活動を通じて、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人々との友好親善の精神を育成することを目的としています。ご加盟いただいた学校は下記の「出前講座」をご利用いただけます。

JRC 加盟校でご活用いただける「出前講座」のメニュー

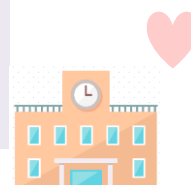
- 体験 「心配蘇生とAEDの使い方」「応急手当」「水上安全法（着衣泳）」「幼児安全法」など
- 学習 「防災学習」「平和学習」「避難所運営ゲーム（HUG）」など

※原則無料・平日のみ（「体験」のご利用については、年度内1回までとなります。）

※内容等詳細は**事業推進課（872-6295）**までお問い合わせください。

他にも、赤十字関連のイベント等にご参加いただけます。

加盟校数 (平成30年3月時点)	
高等学校	20
中学校	28
小学校	65
保育・幼稚園	9
特別支援	12
合計	134





高知赤十字病院は、2019年5月6日（月・祝日）の新築移転開院に向け、順調に建設が進んでおります。8月末現在、建物の階層は最上階まで到達し、**屋上ヘリポート**の位置も確認できるようになりました。

近年、全国各地で「自然災害」による甚大な被害が続いておりますが、新病院は、広域的な災害拠点病院としての役割を果たすため免震構造とし、自家発電装置や給水設備など非常用設備を強化、大規模災害に強い病院として整備されます。ハードの強化のみならず、有事の際に必要な知識、技術を習得した人員の育成にも継続して取り組んでおります。

また、新たに「**脳卒中センター**」、「**患者支援センター**」を設置、専門外来、看護外来の充実を図るとともに、病棟は「**女性専用フロア**」を新設するほか、疾患部位別のフロアとし、各診療科の連携強化によるシームレスで質の高い医療を提供することとしています。

新病院に向け、職員一丸となって取り組んでおります。

今後ともご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

H30.8 北消防署屋上より撮影

災害時イメージ



新病院の
イメージを
ご紹介します！



屋上ヘリポート



エントランス



病室



総合受付



外観イメージ



病棟は、
『井型』構造を
採用しています。

外来受付



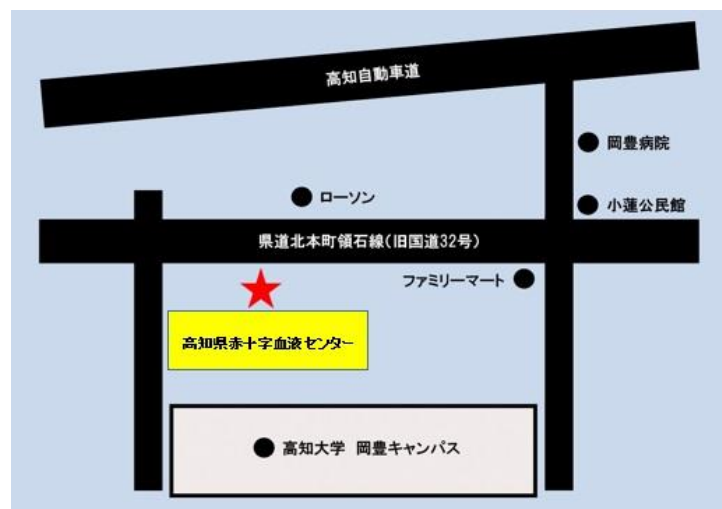
2019年1月
移転予定

血液センター新築移転



高知県赤十字血液センターは、高知市棧橋通6丁目に社屋を構え事業を行っておりますが、近い将来「**南海トラフ巨大地震**」の発生が想定されており、現在の場所では津波による長期の浸水などにより輸血用血液製剤の供給に大きな支障が出ると予想されます。この度、こうした状況を改善するために津波などの被害が少ない南国市岡豊町に移転することとなりました。

災害時には避難所として近隣住民の方の受け入れも想定しています。現在のところ、2019年1月から移転先での業務を開始する予定となっています。



2018年8月10日時点

開催告知

全国学生クリスマス献血キャンペーン

毎年恒例となりました、**高知県学生献血クロス倶楽部**主催の「**クリスマス献血キャンペーン**」を今年も12月に開催します！
全国の献血推進ボランティアの学生達がアイデアを出し合って作る『**今年のクリスマスだけの特別な記念品**』を、献血にご協力いただいた方にプレゼントさせていただいています。

開催日等の詳細は、12月になりましたら「血液センターのホームページ」に掲載しますので、チェックしてみてください。



血液センターホームページはこちら

2018年最後の献血は、是非「**クリスマス献血キャンペーン**」にてご協力をお願いします！



クロスポーズで記念撮影
(昨年度イオン高知にて)



高知県学生献血クロス倶楽部 研修会を開催しました！

7月に高知県学生献血クロス倶楽部メンバーが集まり、血液事業についての研修会を開催しました！

血液センター職員による『献血セミナー』や、普段あまり目にすることのできない『供給課の仕事見学』などを行い、参加した学生からは、

「セミナーを受け、若年層献血者数が
減っていることを改めて実感できた」
「実際に輸血用血液製剤を見られて良かった」

などの感想を聞くことができました。

研修会の最後は学生と職員と一緒に【バーベキュー大会】を実施！！初めて会った職員に対し最初は緊張気味だった学生たちも、徐々に打ち解け、とても賑やかで活気のある楽しいバーベキューとなりました。

最後はみんなで集合写真を撮り、来年もまた開催することをクロスポーズで約束しました！

1日にどれくらいの
血液が必要なの？

供給課って
どんなところ？



①「血液と献血について」のセミナーを聴講後、



②供給課の仕事について説明を受け、



③研修会後は、バーベキューで親睦を深めました



④最後は、クロスポーズで記念撮影

学生ボランティア募集中

～ 高知県学生献血クロス倶楽部に参加してみませんか？ ～

「私たちの声は、患者さんの声です。」

高知県学生献血クロス倶楽部では、**10代、20代の若年層を中心に**献血の呼びかけを行っています。

基本的に、月1～2回の活動ですので、掛け持ちでも大丈夫です！お友達を誘ってのご参加お待ちしております。

少しでもご興味があれば、お気軽にお問い合わせください。詳しい活動内容についてもご説明します！

今後の献血キャンペーン開催予定

12月

全国学生クリスマス献血キャンペーン

1月

成人の日献血（1月初旬を予定）

2月

バレンタイン献血（2月中旬を予定）



私たちは、高知県立大学生22名、高知工科大学学生8名、高知大学生5名を中心に活動しています！

日本赤十字社 高知県赤十字血液センター

TEL：088-833-6667

Eメール：suishin@kochi.bc.jrc.or.jp 今後の活動日程などの情報配信を希望される方はこちらまでメールをお願いします♪

献血推進課 担当：磯岡・乾

活動資金にご協力いただきありがとうございます

平成29年度 歳出決算

歳 出

(千円)

災害救護活動や物資の備蓄に	15,246
救急法等各種講習の普及に	13,074
ボランティア活動の推進に	8,538
青少年ボランティア活動に	8,128
国際活動や海外救援事業に	563
指定事業地方振興費	625
地域での赤十字活動に	14,175
赤十字思想を広げるために	11,104
赤十字施設の活動に	1,000
災害等に備える資金積立として	7,045
総務管理費	24,876
資産の管理、修繕等に	2,512
本社活動資金として本社へ	13,144
次年度繰越金	
※翌年度活動資金が集まるまでの運営費に 充てています	6,879
計	126,909

平成 29 年度は、**総額 89,525,355 円**もの活動資金を県内外

の皆様よりいただきまして、感謝申し上げます。高知県支部では、毎年広く県民の皆様へ赤十字の活動に対するご理解の増進に向けた取り組みを進め、活動資金の寄付をお願いしています。

今後とも、より多くの皆様へ赤十字社の活動にご賛同いただき、活動資金にご協力いただけますよう、ご支援よろしくお願い申し上げます。

活動資金振込口座：各銀行の振込用紙をご利用いただき、「氏名・住所」のご記載をお願いします。

- ① ゆうちょ銀行 01640-4-9896
- ② 四国銀行県庁支店 普通 0379044
- ③ 高知銀行本町支店 普通 0297584
- ④ 高知信用金庫本店 普通 0132352
- ⑤ 幡多信用金庫高知支店 普通 0108110
- ⑥ 高知県信用農業協働組合連合会本所 普通 6718497

口座名：日本赤十字社 高知県支部

「御社のCSR活動」に赤十字を取り入れませんか？

サポーター制度（主に法人対象）

「赤十字支援マーク」



売上げの一部は
日本赤十字社高知県支部の
活動資金として寄付されます。

サポーター制度とは、日本赤十字社の使命にご賛同いただき、赤十字の活動を支えていただける法人とパートナーシップを結び、ともに社会貢献をしていく制度になります。（平成30年10月1日時点で、8法人様にご登録いただいています。）

登録には、一定金額の寄付を前提としますが、日赤主催の事業広告へ「協賛企業」として社名掲載が可能であったり、「赤十字支援マーク」を名刺や御社サイトで使用が可能です。

ご支援方法は他にもありますので、ご興味のある法人様は、**高知県支部総務課**までお問い合わせください。

その他支援協力の例として、売り上げ金の一部をご寄付いただく「寄付金付き自動販売機」の設置があります。自販機の設置・管理、売上金の回収、日赤への振込は業者が行いますので、自販機を設置いただける場所をご提案いただけませんか？



プ レ ゼ ン ト ク イ ズ

Q：青少年赤十字を英語3文字で言うとなん？

- ①SRC ②JWC ③JRC

プレゼント

けんけつちゃんハンドスピナー
を **5名様** にプレゼント！！
↓↓↓

応募方法：① お名前 ② ご住所 ③ 年齢 ④ プレゼントクイズの答え ⑤ ふれあいの感想をご記入の上、

下記宛先まで郵送またはメールで平成31年1月31日（木）までにご応募ください。

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

宛 先：〒780-0850 高知市丸の内1-7-45 総合あんしんセンター1階

日本赤十字社高知県支部「ふれあい」プレゼント係

メールアドレス：somu@kochi.jrc.or.jp

